

教育委員会編

学びを通じて地域を創る

市の政策を連載でお伝えします。今月号は、教育行政を支える教育委員会の注目施策を紹介します。

注目1 GIGAスクール構想 「新たな文房具」 全校に導入

1人1台配備が完了

全国の教育現場で、パソコンなどの情報端末を学習に活用する「GIGAスクール構想」が進められています。市では、タブレットとしてもノートパソコンとしても使える2 in 1タイプの端末を約7400台導入し、令和3年5月、すべての児童生徒が利用できるよう整備しました。併せて、校内における通信ネットワーク環境（高速大容量無線LAN）の整備と、専門知識を持つ支援員による



※ICT = Information and Communication Technology の略。通信技術を使って、人とインターネット、人と人がつながる技術のこと。

サポートなどで、機器の活用が進むよう取り組んできました。学習ツールの一つとして

鉛筆やノートと同じように、端末が「文房具」の一つとなった今、学校での学びのスタイルが変わってきています。

各校では、端末の操作に慣れることからスタートし、国語や社会など各教科の授業にICTを取り入れるなど、子どもたちの興味関心を高め、理解が深まる授業の実現に向けて取り組んでいます。その他にも、学級活動や総合的な学習の時間など、さまざまな場面で思考と表現を深め、協働学習を実践する道具として端末が活用されています。

ICTの活用は、学びの時間・場所などの制約を取り払うことも可能

離れた場所をつなぐ

にしています。

明南小学校と明北小学校は合同で社会見学を行っています。以前は子どもたちがお互いの顔を知らなまま当日を迎えていました。全員に端末が配備された今では、オンライン授業ができるアプリ等を使い、事前に顔合わせできるようになり、交流が一層深まりました。

意見を瞬時に集約

穂高東中学校では、全校での人権学習を行った際に、一人一人がアンケートアプリを使って自分の考えを回答。数百人の回答結果は、リアルタイムで集計され、その場でデータを活用することができました。



市教育委員会では、今後も情報端末と全普通教室に設置した電子黒板等を活用し、子どもたちの学習活動がより充実するよう取り組んでいきます。

注目2 安曇野市文書館 過去―現在―未来をつなぐ場所

記録を活かす場所「文書館」

市が今後どのように歩んでいくか考える時には、過去や現在の情報を調べるのが重要です。市文書館は、市にとって重要な文書を後世に引き継ぐために平成30年10月に開館し、これまで延べ5000人が利用しています。



文書や資料の原本は持ち帰り厳禁。閲覧スペースで見ることができる。

から、旧町村時代に作成された公文書や市が発行した刊行物まで、約10万点の文書（画像データを含む）を保存しています。

また、文書を読み解く楽しさを多くの皆さんに知ってもらうため、企画展や関連講座・講演会などを開催しています。

市公式ガイド「市誌」編さん

文書館に集まる資料等を活用し、令和2年度から市誌編さん委員会を立ち上げ、専門家の皆さんとともに『安曇野市誌』の編さんを行っています。「安曇野市はどんなところ？」

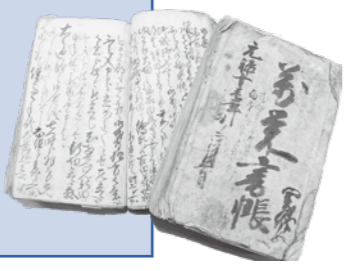
教育部の仕事

一生涯の学びをサポート

市教育委員会は、学校教育課・生涯学習課・文化課の3課で構成された、市の教育行政全般を担う部署です。具体的には、小中学校の運営や施設管理、給食の提供、文化芸術の振興と文化財の保護、社会教育の推進、公民館や体育館、図書館の管理運営などを担当しています。

求む！地域資料

文書館では、古文書の他にも、現在の資料や古写真も集めています。こんな時にはぜひ連絡を!! ★空き家の荷物を処分... →もしかしたら地域にとって重要な情報が隠れているかも。★サークルや団体を解散... →活動の記録を文書館に残しませんか。



部長ミニインタビュー



教育部長 平林 洋一

市誌編さんに皆さまのご協力を

令和2年度から始まった市誌編さん事業では、安曇野の未来への指針となる市誌を作り上げるため、旧町村誌を基本としつつ、最新の研究成果も加えて、歴史・民俗・自然の各分野の編み直しを行っています。さらに、郷土愛を育むために「子ども版市誌」の編さんも視野に入れながら、親しみやすい『安曇野市誌』になるよう努めてまいります。文書館の運営や市誌の内容をより充実させていくためにも、市民の皆さまのご協力をよろしくお願いします。

今後、市誌を多くの皆さんに活用いただくため、ホームページからの閲覧や調査成果の配信を行う予定です。

教育長ミニインタビュー



教育長 橋渡 勝也

未来を拓くたくましい安曇野の子どもに

安曇野市立小・中学校および各ご家庭では、新型コロナウイルスの感染予防に努めていただくとともに、学びを継続するために懸命に取り組んでいただいていることに感謝いたします。このような状況だからこそ、未来を切り拓く主役である安曇野市の子どもたちには、夢や希望を持って、からだ・頭・心をしっかりと働かせ、自分で考え、判断し、行動する「たくましい安曇野の子ども」に成長するよう期待しています。